

★これも気になる一般質問

各ページに掲載できなかった、これだけは言いたいことを集めて

Q ファミリーサポートシステムの拡充は。
(影岡 議員)

A 松前町では、子育てしやすい環境づくりを推進するため、ファミサポ事業の充実を図りたいと考え、町からサポート会員又は利用会員への助成制度の導入や利用料金の見直しなどを検討しているところだ。

Q リサイクル率計画は。
(加藤 議員)

A この10年間のリサイクル率の変化は、平成21年度21.5%から徐々に上昇し、平成26年度27.7%をピークに減少に転じ、平成30年度は23.2%となっている。今後の目標値は、平成23年度に策定した15か年計画の松前町一般廃棄物処理基本計画では、リサイクル率の目標を、10年目の令和2年度には25.1%、最終年度の令和7年度は30%と定めている。

Q 国保医療費の不正受領について町の対応は。
(加藤 議員)

A 不正受領が発覚したのは、今年の2月末。保険課の担当職員が、情報提供元からの資料と松前町に存在する請求データを突合した結果、不正の請求があることを確認した。

当初、施術所に対して、詐欺行為として刑事告発を考えたが、顧問弁護士と相談を行い、立件が困難であるとの見解であったことから、告発は行わず、不正請求により松前町が被った損害の賠償を求めることとした。

Q 災害時5段階「警戒レベル」を県、市町で運用することになったが、町民への周知、広報は。
(藤岡 議員)

A 住民への周知は、まさき広報、町のホームページ、フェイスブックなどを使い、わかりやすくお知らせしていく。5段階のうちレベル1と2は、自らの避難行動の準備をする段階。レベル3は、高齢者など避難に時間や配慮を要する方の避難開始の状態。レベル4は、避難対象区全体の住民避難の段階。この時気象情報も出るので、いつ避難勧告の発令が出されてもいよいよ災害情報に留意されたい。常に、自分の命は自分で守る最善の行動をとっていただきたい。

Q 3月議会に急ぎょ上程された省エネ改修委託事業の費用対効果が示されていない。費用対効果の検討結果を具体的に数値で示して欲しい。
(金澤 議員)

A 省エネ改修事業に応募した町の3施設での二酸化炭素の削減量1トン当たりの費用は5万3232円。一方、同様施設の他市町の1トン当たりの費用は約7万円である。松前町の費用対効果は高い。

プレスリリースから

国保医療費不正受領の件

●不正請求額

(并済額)

平成28年12月

平成30年10月

44万9210円

●今後の対応

当該施術所の損害賠償債務の返済について、確実な履行を促します。

●再発防止策

松前町の国民健康保険の被保険者に対し文書でマッサージの施術内容を確認する抽出調査を実施して不正の把握に努め、今後も不正請求については、厳正に対処します。

●その他

情報提供源及び施術所名については、個人情報保護の観点から公表しないこととします。

★今後のことを考えると、対応が少し寛容すぎるのではという議員の意見もあった。

